

2021年7月26日

よかまちみらいプロジェクト

糸島市とよかまちみらいプロジェクトで災害関連協定を締結

移動サービス等を通じて未来へ繋がるまちづくり(=よかまち)を目指す『よかまちみらいプロジェクト』。その取組みとして、糸島市と災害時の支援を中心とした災害関連協定を締結いたしました。

■災害関連協定の目的

災害時に避難所等での非常用電源（照明・携帯電話充電）確保が出来る給電対応車両等の提供や、災害発生前の平常時から地域の防災意識・知識の向上に関する支援に取り組むことで、災害に強いまちづくりへの貢献を目指します。

■災害関連協定の内容

- <協定①> 災害時における給電可能車両等の提供に関する協定
 ・市の要請に基づき避難所などへ給電可能車両を提供
- <協定②> 糸島市の地域防災力向上に関する協定
 ・防災意識の啓発および防災知識の普及
 ・防災、危機管理の情報発信
 ・市が管理する危険地域の監視協力



■主な取組み参加企業(五十音順、敬称略)

あいおいニッセイ同和損保、イオン九州、NTTドコモ、オリエンタルコンサルタンツ、嘉穂無線ホールディングス、九州博報堂、昭和自動車、昭和フード、ソア、総合警備保障、大日本印刷、デンソーソリューション、電通九州、東京海上日動火災保険、トヨタL & F福岡、トヨタカーラ福岡、西日本新聞社、ネットヨク福岡、福岡昭和タクシー、福岡トヨタ自動車、福岡トヨペット、へいせい、三井住友海上火災保険、読売新聞西部本社、SEEDホールディングス（事務局）損害保険ジャパン（共同事務局）

よかまちみらいプロジェクト防災・減災 分科会 （事務局：SEEDホールディングス／損害保険ジャパン）

平常時	■ 防災・減災教育
	■ 情報発信
	■ 危険地域の監視

災害時	■ 給電車の派遣
	■ 避難場所の支援 （場所・物資）

<よかまちみらいプロジェクトとは?>

北部九州にて交通運輸事業を展開する昭和グループ企業および、志を同じくする企業がコンソーシアムを結成し、移動サービスを中心に地域の魅力向上と活性化への貢献を目指すプロジェクトを2020年10月5日（月）に発足。移動サービス・防災・交通安全等の取組をまずは糸島半島で実施中。

サービスの企画開発・提供においては、『プロジェクトパートナー』として福岡県、糸島市、福岡市ならびに九州大学等の関係機関や企業とも連携し、産学連携による先進技術の研究・実証も推進することで、中長期に亘るプロジェクトを展開。

- ・よかまちみらいプロジェクトのコンソーシアム企業（団体）は主体企業が43企業・エリアパートナー5企業、プロジェクトパートナー14企業（団体）となり現在は合計で62企業（団体）で構成

本リリースに関する問い合わせ先

【事務局】 株式会社SEEDホールディングス モビリティ事業推進室 担当：大賀(おおが)
電話：092-737-2339 E-mail：tooga@seed-holdings.co.jp

【共同事務局】 損害保険ジャパン株式会社 九州自動車営業部 担当：水谷(みずたに)
電話：092-481-3707 E-mail：tmizutani2@sompo-japan.co.jp